

シラバス

令和7年度		1 学年	美術
目標	表現及び鑑賞の活動を通して、造形的に表す力や見る力を培い、生活や社会の中の美術を楽しむ態度を養う。		
前期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・造形活動に楽しんで取り組むことができる。 ・対象をよく観察し、概念でなく、写實的に表そうとすることができる。 ・色について理解し、表現に生かすことができる。 ・画材や用具を適切に使用して造形することができる。 		
月	前期学習内容	時数	キャリア教育の視点 学習指導要領の目標 ①は第1段階 ②は第2段階
4月	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ・授業の約束、心構えの確認、レクリエーション活動 ○「お絵かきウォーミングアップ」 ・簡単なスケッチ、イラスト、塗り絵など 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の約束や活動への心構えを確認し、見通しを持って取り組む(学) ・活動を楽しみ、今後への期待感を持つ(学) ・題材をもとに自由に発想する(思・判・表)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ○形を捉えて描く ・素描、鉛筆スケッチ、明暗を意識した立体感のある表現 	4	<ul style="list-style-type: none"> 対象を観察によって表現する(知・技)(思・判・表)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○水彩画「観察して描こう」 ・水彩絵具、用具の使い方 ・混色・濃淡の表現 「空を描こう」「緑を描こう」 ○色の学習 ・色の三要素(色相、明度、彩度)、はたらき、イメージ 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・対象を観察し、概念にと捉われずに表現する(知・技)(思・判・表) ・色彩や画材の特性を知り、制作に生かす。(知・技)(思・判・表) ・ルールやマナーに則って適切に用具を使用する。(思・判・表)(学)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○水彩画「観察して描こう」 ・作品制作 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・対象の形や色を、概念に捉われずに描画する(知・技)(思・判・表) ・画材の特性を生かして表現する(知・技)(思・判・表)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ○水彩画「観察して描こう」 ・作品制作 ○文化祭の展示 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・画材の特性を生かして表現する(思・判・表) ・発表を通じてコミュニケーションを図る(思・判・表)(学)

後期 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・造形活動に意欲的に取り組むことができる。 ・既成品を素材として立体表現し、新しいイメージを作り出すことができる。 ・作品鑑賞を通して、表現力とコミュニケーション力を伸ばすことができる。 			
月	後期学習内容	時数	キャリア教育の視点	学習指導要領の目標 ①は第1段階 ②は第2段階
10月	<ul style="list-style-type: none"> ○作品鑑賞 ・「気づいたこと、感じたことを伝えよう」 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を通して気づいたことや感じたことを、文章で捉え直し、伝える力をつける（思・判・表）（学） 	①B鑑賞ア（ア）美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方などを広げること。
11月	<ul style="list-style-type: none"> ○切り絵を中心にした紙の造形 ・刃物、用具の使い方 ・技法の理解 ・作品制作 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい表現技法や配置、配色などを考える。（知・技）（思・判・表） ・安全に留意して制作する（学）（知・技） ・手指の巧緻性を高める。（知・技）（思・判・表） 	<ul style="list-style-type: none"> ②A表現ア（ア）対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②A表現ア（イ）材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表現すること。
12月	<ul style="list-style-type: none"> ○切り絵を中心にした紙の造形 ・刃物、用具の使い方 ・技法の理解 ・作品制作 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい表現技法や配置、配色などを考える。（知・技）（思・判・表） ・安全に留意して制作する（学）（知・技） ・手指の巧緻性を高める。（知・技）（思・判・表） 	<ul style="list-style-type: none"> ②A表現ア（ア）対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②A表現ア（イ）材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表現すること。
1月	<ul style="list-style-type: none"> ○切り絵を中心にした紙の造形 ・刃物、用具の使い方 ・技法の理解 ・作品制作 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい表現技法や配置、配色などを考える。（知・技）（思・判・表） ・安全に留意して制作する（学）（知・技） ・手指の巧緻性を高める。（知・技）（思・判・表） 	<ul style="list-style-type: none"> ②A表現ア（ア）対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②A表現ア（イ）材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表現すること。
2月	<ul style="list-style-type: none"> ○切り絵を中心にした紙の造形 ・作品としての仕上げ 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を最後までやり直し、まとめあげる（思・判・表）（学） 	<ul style="list-style-type: none"> ②A表現ア（ア）対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②A表現ア（イ）材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表現すること。
3月	<ul style="list-style-type: none"> ○切り絵を中心にした紙の造形 ・作品としての仕上げ ○1年の学習のまとめ 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を最後までやり直し、まとめあげる（思・判・表）（学） ・学習を振り返るとともに、次年度への学習意欲を持つ（学）（思・判・表） 	<ul style="list-style-type: none"> ②A表現ア（ア）対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②A表現ア（イ）材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表現すること。 ①B鑑賞ア（ア）美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方などを広げること。
年間予定時数		32		

シラバス

令和7年度		2 学年		美術	
目標	表現及び鑑賞の活動を通して、造形的に表す力や感じる力を高め、生活や社会の中の美術に親しむ態度を伸ばす。				
前期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の造形的な特徴を理解し、表現したい形や色を選ぶことができる ・作品を組み合わせ、飾ったり生活を彩る表現をすることができる。 ・素材や用具を適切に扱い、造形に生かすことができる。 ・美術的な活動を楽しみ、意欲的に取り組むことができる。 				
月	前期学習内容	時数	キャリア教育の視点	学習指導要領の目標 ①は第1段階 ②は第2段階	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ・授業の約束、心構え・伝絵ゲーム ○切り絵・切り紙 「作品としての仕上げ」 ・背景の工夫 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に見通しを持って取り組む。(知・技)(学) ・指示理解や手指の巧緻性を高める。(知・技)(思・判・表) 	<ul style="list-style-type: none"> ②A 表現ア(ア) 対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②B 鑑賞ア(イ) 生活や社会の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ○切り絵・切り紙 「作品としての仕上げ」 ・背景の工夫 ・マーブリング 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・色や形を選択し、美しい組み合わせを考える。(知・技)(思・判・表) ・安全に留意して制作する。(知・技)(思・判・表)(学) ・指示理解や手指の巧緻性を高める。(知・技)(思・判・表) 	<ul style="list-style-type: none"> ②A 表現ア(ア) 対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②A 表現ア(イ) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表現すること。 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○作品を飾る額作り 「木工」 ・木の組み合わせ 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・色や形を選択し、美しい組み合わせを考える。(知・技)(思・判・表) ・安全に留意して制作する。(知・技)(思・判・表)(学) ・手指の巧緻性を高める。(知・技)(思・判・表) 	<ul style="list-style-type: none"> ②A 表現ア(ア) 対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②A 表現ア(イ) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表現すること。 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○作品を飾る額作り 「木工」 ・木の組み合わせ 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・色や形を選択し、美しい組み合わせを考える。(知・技)(思・判・表) ・安全に留意して制作する。(知・技)(思・判・表)(学) ・手指の巧緻性を高める。(知・技)(思・判・表) 	<ul style="list-style-type: none"> ②A 表現ア(ア) 対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②A 表現ア(イ) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表現すること。 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ○文化祭、作品展示の準備 ○作品鑑賞 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を最後までやり通し、まとめあげる。(思・判・表)(学) ・発表を通じてコミュニケーションを図る。(思・判・表)(学) 	<ul style="list-style-type: none"> ②A 表現ア(ア) 対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②A 表現ア(イ) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表現すること。 	

後期 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・技法の面白さを理解し、主題を効果的に表現する方法を考えることができる。 ・日本の美術品のよさや特徴をもとに、美しく創造することができる。 ・素材の特性を生かして制作することができる。 ・美術的な活動を楽しみ、意欲的に取り組むことができる 			
月	後期学習内容	時数	キャリア教育の視点	学習指導要領の目標 ①は第1段階 ②は第2段階
10月	○沖縄の美術・工芸・建築物 「日本の美術・工芸品」	5	<ul style="list-style-type: none"> ・対話的なコミュニケーションの力を伸ばす。(思・判・表)(学) ・美術工芸品について知見を広げ、行事等で理解を深める。(知・技)(学) 	<ul style="list-style-type: none"> ②A 表現ア(ア) 対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②B 鑑賞ア(イ) 生活や社会の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。
11月	○沖縄の美術・工芸・建築物 「日本の美術・工芸品」	3	<ul style="list-style-type: none"> ・美術工芸品について知見を広げ、行事等で理解を深める。(知・技)(学) 公共の標識の意味を知り、行事等で活用する。(知・技)(思・判・表)(学) 	<ul style="list-style-type: none"> ②A 表現ア(ア) 対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②B 鑑賞ア(イ) 生活や社会の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。
12月	○シーサーの制作 「立体造形」 ・骨組み作り	3	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な題材を、材料の特性や分量、形の整え方を考えながら立体で表現する。(知・技)(思・判・表) 	<ul style="list-style-type: none"> ②A 表現ア(ア) 対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②B 鑑賞ア(イ) 生活や社会の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。
1月	○シーサーの制作 「立体造形」 ・粘土で肉付け	2	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な題材を、材料の特性や分量、形の整え方を考えながら立体で表現する。(知・技)(思・判・表) 	<ul style="list-style-type: none"> ②A 表現ア(ア) 対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②B 鑑賞ア(イ) 生活や社会の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。
2月	○シーサーの制作 「立体造形」 ・細部作りと仕上げ	2	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な題材を、材料の特性や分量、形の整え方を考えながら立体で表現する。(知・技)(思・判・表) ・物事を最後までやり通し、まとめあげる。(思・判・表)(学) 	<ul style="list-style-type: none"> ②A 表現ア(ア) 対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②B 鑑賞ア(イ) 生活や社会の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。
3月	○1年間の学習のまとめ	2	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習を振り返り、次年度の学習に向けての意欲を持つ。(学)(思・判・表) 	<ul style="list-style-type: none"> ②A 表現ア(ア) 対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②A 表現ア(イ) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表現すること。 ②B 鑑賞ア(ア) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方などを深めること。
年間予定時数		30		

シラバス

令和7年度		3 学年		美術	
目標	表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な表現力や事物から美的に感じ取る力を高め、生活や社会の中の美術に主体的に親しむ態度を身につける。				
前期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自画像について造形的な理解を持ち、意図を持って自分を描くことができる。 ・造形的なよさや美しさを追究し、工夫して表現することができる。 ・主体的に活動に取り組み、意欲的に取り組むことができる。 ・自分や他者の自画像を通して、感じたことや考えたことを表現することができる。 				
月	前期学習内容	時数	キャリア教育の視点	学習指導要領の目標 ①は第1段階 ②は第2段階	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ・授業の約束、学習への心構え、レクリエーション活動 ○「18歳の自画像を描こう」(自画像制作) ・さまざまな自画像・人物画の鑑賞 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・学習への見通しや期待を持って活動に取り組む(学) ・人物画のさまざまな表現を知り、関心を持つ(知・技)(学) ・18歳を迎える自分を改めて振り返り、自己理解を深め、自分らしさを追求する。(思・判・表) 	<ul style="list-style-type: none"> ②A 表現ア(ア) 対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②B 鑑賞ア(イ) 生活や社会の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ○「18歳の自画像を描こう」(自画像制作) ・自画像を構成する要素 ・自分についての考察 ・表情・ポーズ等の構想、計画 ・写実的なスケッチ ・下絵の描き方 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさを追求し、意図を持って物事に取り組む(思・判・表)(表) ・技法について理解・習熟し、自分の表現に生かす(知・技)(思・判・表) 	<ul style="list-style-type: none"> ②A 表現ア(ア) 対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②A 表現ア(イ) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表現すること。 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○「18歳の自画像を描こう」(自画像制作) ・下絵制作 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・手順や技法を理解し、意図を生かした表現となるよう、造形を工夫する(知・技)(思・判・表) ・ていねいに制作する(学) 	<ul style="list-style-type: none"> ②A 表現ア(ア) 対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②A 表現ア(イ) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表現すること。 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○「18歳の自画像を描こう」(自画像制作) ・下絵制作 ・描画、着彩 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・手順や技法を理解し、意図を生かした表現となるよう、造形を工夫する(知・技)(思・判・表) ・ていねいに制作する(学) 	<ul style="list-style-type: none"> ②A 表現ア(ア) 対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②A 表現ア(イ) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表現すること。 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ○「18歳の自画像を描こう」(自画像制作) ・描画、着彩 ・作品としての仕上げ、まとめ ・展示、発表 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を最後までやり直し、まとめあげる(思・判・表)(学) ・発表を通じてコミュニケーションを図る。(思・判・表)(学) 	<ul style="list-style-type: none"> ②A 表現ア(ア) 対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②A 表現ア(イ) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表現すること。 ②B 鑑賞ア(ア) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方などを深めること。 	

後期 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・題材についての深い理解を持ち、表現することができる。 ・題材や素材のよさを生かした表現を考えることができる。 ・主体的に活動に取り組み、美術に親しむ態度を深めることができる。 ・作品に愛着を持ち、生活に生かすことができる。 			
月	後期学習内容	時数	キャリア教育の視点	学習指導要領の目標 ①は第1段階 ②は第2段階
10月	<ul style="list-style-type: none"> ○「18歳の自画像を描こう」(自画像制作) ・作品鑑賞 ○鑑賞 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・作品から感じたり考えたりしたことを表現する(思・判・表) ・対話的なコミュニケーションの力を伸ばす(思・判・表)(学) 	<ul style="list-style-type: none"> ②B鑑賞ア(ア)美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方などを深めること。 ②B鑑賞ア(イ)生活や社会の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。
11月	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業制作 ・3年間の学校生活の思い出を主題とする造形活動 ・技法の理解 ・構成、表現 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・技法について理解・習熟し、自分の表現に生かす(知・技)(思・判・表) ・学校生活を振り返り、卒業後の社会生活に向けて、励みとなるような作品を考える(思・判・表)(学) ・今までの学習を踏まえ、よりよい作品となるように取り組む(学) 	<ul style="list-style-type: none"> ②B鑑賞ア(ア)美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方などを深めること。 ②B鑑賞ア(イ)生活や社会の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。
12月	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業制作 ・3年間の学校生活の思い出を主題とする造形活動 ・技法の理解 ・構成、表現 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・技法について理解・習熟し、自分の表現に生かす(知・技)(思・判・表) ・学校生活を振り返り、卒業後の社会生活に向けて、励みとなるような作品を考える(思・判・表)(学) ・今までの学習を踏まえ、よりよい作品となるように取り組む(学) 	<ul style="list-style-type: none"> ②A表現ア(ア)対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②A表現ア(イ)材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表現すること。
1月	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業制作 ・3年間の学校生活の思い出を主題とする造形活動 ・技法の理解 ・構成、表現 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・技法について理解・習熟し、自分の表現に生かす(知・技)(思・判・表) ・学校生活を振り返り、卒業後の社会生活に向けて、励みとなるような作品を考える(思・判・表)(学) ・今までの学習を踏まえ、よりよい作品となるように取り組む(学) 	<ul style="list-style-type: none"> ②A表現ア(ア)対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②A表現ア(イ)材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表現すること。
2月	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業制作 ・3年間の学校生活の思い出を主題とする造形活動 ・作品としての仕上げ、まとめ ・展示、発表 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を最後までやり通し、まとめあげる(思・判・表)(学) ・対話的な鑑賞を通じて、コミュニケーションの力を伸ばす(思・判・表)(学) 	<ul style="list-style-type: none"> ②A表現ア(ア)対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 ②A表現ア(イ)材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表現すること。 ②B鑑賞ア(ア)美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方などを深めること。
3月	○学習のまとめ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの美術の学習を振り返り、今後の生活に活かす方法を考え合う(思・判・表)(学) 	②B鑑賞ア(イ)生活や社会の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。
年間予定時数		25		